



テラスゲート土岐 支配人  
NEXCO 中日本開発(株)  
取締役・統括本部長

# 軍記伸一氏

生年月日：昭和 37 年 2 月 16 日 (53 歳)  
血液型：AB 型  
家族：妻・長男・次男

# この人にインタビュー



インタビュアー			
●担当副会長			
(株)主婦の店 土岐店	土本	大	
●広報委員長			
(株)サカエ屋	大脇	慶二	
●広報副委員長			
(有)マツイデンキ	松井	啓至	

## I N T E R V I E W

本日は平成 27 年 4 月にオープンした“テラスゲート土岐”支配人の軍記伸一氏をご紹介します。

まずは、御社の概要・概況・今後の計画についてお伺いします。

**軍記** NEXCO 中日本は、平成 17 年 10 月、日本道路公団から分割民営化され、東名、中央道、北陸地区、中部地区の高速道路の建設・管理を担当しております。また NEXCO 中日本開発(株)は、地域活性化への貢献を目指し高速道路周辺における商業施設等の開発・管理・運営などを行うため、平成 26 年 4 月 8 日に設立されました。

今から 5 年前、グループ CEO の交替に伴い「世界一の高速道路会社を目指そう」ということになりました。そのために事業戦略、拡大成長が非常に重要

になり、その一つとして、社内に「事業創造部」が設置され、新たな事業領域にチャレンジしていきました。まさに、テラスゲート土岐は、高速道路区域から外に出て行って取り組むことと、直営で事業を運営していくことがチャレンジになると思っております。この事業のキーワードは「地域との連携」です。地域の商品や魅力を行政と一体となって情報発信し、地域と NEXCO 中日本が一緒になって発展していくことを目指しております。

今は、テラスゲート土岐の良さを地域の方や遠方より訪れる方に知っていただくことと、確実な業務運営（レジオネラ菌、食中毒対策など）に全力投球しています。

次に、集客についての戦略をお聞かせください。



**軍記** “人が集まる玄関口”という意味のテラスゲート土岐には、天然日帰り温泉「土岐よりみち温泉」、地域の個性豊かな商品を発信する地域連携施設「まちゆい」、スーパーセンター「オークワ」などがあります。

集客については、まずは地元のお客さまの認知率を高めたい。特に、よりみち温泉は地元の方にリピーターになっていただきたいと思っております。すでに9,000人近くの方に会員になっていただいでいて、土岐市、多治見市、瑞浪市の方が70%以上です。お客様の要望には絶えず耳を傾け、いくつもの改善を行っております。例えば、畳の部屋の整備、岩盤ホットヨガ、お子様向けのゲーム大会、健康器具の設置など。さらに7月には、3mの海水魚水槽を設置し（よりみち水族館!!）、500匹の魚でくつろぎを演出しています。

地域との関わりを重視されているんですね。では、地域の活性化に必要なことについてはどうお考えですか？

**軍記** やはり、我々外からの事業者は、いかにして事業そのものが地域の方々に受け入れられるかが重要だと思っております。特に、土岐市、商工会議所、観光協会などとの連携なくして、「地域と一体となった連携」とは言いえないと思います。先日イベントでは、高山城の武将隊が我々のイベント応援に来てくれましたし、地元のアマチュアバンド、ダンスチームも参加してくれております。そのイベントを通じて地域との交流も芽生えますし、今後は我々も何かあればお手伝いができることもあると思います。10月4日には、土岐市の主催でNEXCO中日本が共催してフォトロゲーニング（地図に示されたチェックポイントを順番に回るオリエンテーリング）が開催されました。これも一つの地域活性化事

業で、470人の参加があり、遠くは鹿児島県から関東まで、県外の方が多く参加してくれました。こういう活動も今後数多く取り組みたいと思います。

「土岐市は陶器の生産日本一」ですよ。私も今年の3月まで名古屋で勤務しておりましたが、このことは周りの方も知りませんでした。もっと宣伝するために、ギネスに挑戦したらどうかと思うんです。例えばモザイク絵のように美濃焼きのお皿をつなげて世界一の作品をつくるのです。少し調べたのですが、10cmの皿を並べて20m×30mにすればギネス記録になるようです。毎年いろいろなかたちでギネスに挑戦して、陶器に関するギネス記録を全部塗り替えるくらいのことをすれば、新聞やテレビに取り上げられて、土岐市が陶器の街だということがより一層知ってもらえるようになるのではないのでしょうか。ただ費用や生産体制などの諸条件を整えるのが大変ですので、また日を改め場所をかえて、今日お越しの皆様ともじっくり話し合いたいですね。（笑）私たち外の者から見れば、なぜもっと日本一を利用しないんだって思います。市町村によってはいい商品があっても、それをアピールするキャッチフレーズに困っているところは多々あります。ぜひ、「陶器生産日本一」を謳って陶器の街をアピールしましょう。

また、何かあった時に地域の皆様の防災拠点として、テラスゲートを使っていたらいいと考えています。緊急輸送物資の一時ストックヤードとしてお役に立てるのではないのでしょうか。「地域との連携」はNEXCO中日本の使命ともいえます。

軍記さんは好奇心旺盛で、アイデアの宝庫ですね。ところで、軍記という苗字はめずらしいですが、ご出身はどちらでしょうか？また、ご自身の経歴を紹介してください。

**軍記** 東京都出身ですが、両親は石川県金沢市出身ですので、原産地はということになると金沢です。本家は富山県滑川市にありまして、軍記という家は、富山と石川に数軒あるようですが、詳しくはわかりません。

昭和59年、芝浦工業大学機械工学第二科を卒業し、旧日本道路公団に入社しました。平成17年中日本高速道路(株)横浜支社で施設整備チームリーダーを、平成22年本社でCS推進チームリーダーを、平成24年松本HCSで所長を、平成25年東京支社で環境技術部副部長を務め、平成26年4月から

NEXCO 中日本開発(株)の取締役・統括本部長として、テラスゲート土岐の支配人をしております。これまで、金沢、御殿場、姫路、小田原、新潟、富山、横浜、東京、松本など、2～3年で転勤を繰り返しており、現在は妻と息子2人を横浜に残し、名古屋市に単身赴任中です。横浜へ帰省するときは、愛車のバイクで帰ります。余談ですが、私どもは高速料金が無料じゃありません。社員割引等もありませんのできちり払っていますよ。(笑)

また、平成26年6月から、日本トイレ協会の理事に就任しました。

最近高速道路のトイレがガラッと変わったと思いませんか?昔のトイレは“公衆便所”、いわゆる公園のトイレと同じで、タイル張りの床に水を撒いて掃除していました。民営化後、それを商業施設のトイレのようにしたいと思い、入口をガラス張りにしてロビー空間をつくり、便器の9割を洋式にし、温水洗浄便座も標準化しました。平成27年9月、新東名のNEOPASA 清水のトイレが第1回日本トイレ大賞「国土交通大臣賞」を受賞しました。今後さらに快適な休憩設備空間になるよう取り組んでいきたいと思えます。

人生観または座右の銘などありましたらお聞かせください。

#### 軍記 「とにかくやってみる」

上司や周りからの指示相談において、第一声で「できない」とは言わない。その趣旨に沿った形で自分なりの考えで物事を進めてみる。「できません」といった段階で思考回路が止まるのと、もしかしたら、何か別の条件との融合でいい形になる可能性もあるから。ヨットはアゲインストの風でも進みます。真っすぐでなくてもななめでもいいので、とにかく前に進むことが大切です。

趣味や健康法などについてはいかがですか?

軍記 ゴルフ、バイク(750cc)、コントラクトブリッジ(サンドイッチ伯爵が夢中になったというランブゲーム)、高校野球観戦(横浜高校のファン、甲子園まで応援に行きます)、海水魚飼育(よりみち湯に水槽設置しました!)、蕎麦打ちなど。また、加藤孝造先生の陶芸講座に申し込みましたので、ぐいのみなど作ってみたいと思っています。

健康法としては、暴飲暴食は控え、適度な運動(散



歩)を心がけています。

最後に一言お願いします。

軍記 土岐市の皆様の協力なしではこのテラスゲートはできませんでした。地域の皆さんと連携して地域創生することで、今後もNEXCO中日本を支援していただけるよう活動していきたいと考えています。

本日は道路のことから話がひろがって、おもしろいお話をたくさん聞かせていただきました。ありがとうございました。

